

(別紙5)

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 26-1-003
補助事業名 平成26年度 自転車競技の普及促進及び競技力の向上に資する事業
補助事業者名 特定非営利活動法人ジャパンカップサイクルロードレース協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

ジャパンカップサイクルロードレースの開催

本事業を開催することにより、ロードレースの魅力を多くの人々に発信するとともに、地域の活性化や「自転車のまち宇都宮」のPRを推進していく。また、本事業を通して、より多くの人々が自転車競技に興味を持ち、サイクリングなどの活動への参加から、エコロジーや安全、健康づくりを促進する。子どもや女性を対象とした参加型イベントも多数実施しており、若者・家族・女性など新規ファン層の拡大の一助となっている。

(2) 実施内容

10月11、12日 ジャパンカップシクロクロス開催 (宇都宮城址公園)



シクロクロスレース (エキシビジョン)



シクロクロスレース (AJOCG公認キッズカテゴリ)

10月17日 ジャパンカップ参加選手によるチームプレゼンテーション(宇都宮市オリオンスクエア)



会場の様子



ステージの様子

(別紙5)

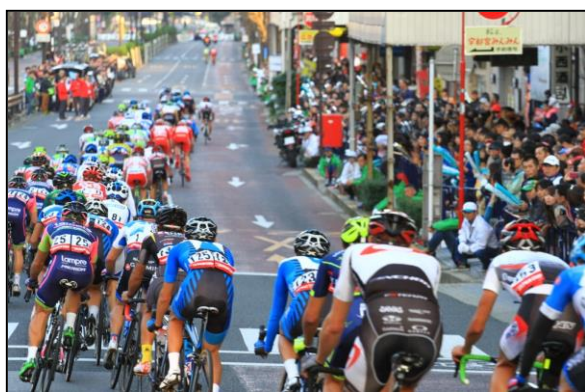
10月18日 一般愛好家による自転車走行イベント（フリーラン：宇都宮市森林公園）
JCF登録競技者による男女別レース（チャレンジレース、オープンレース：宇都宮市森林公園）
2014ジャパンカップクリテリウム（宇都宮市市内中心部大通り）



トップ選手と参加者が触れ合う様子(フリーラン)



スタート前の様子(オープンレース)



市内目抜き通りを走る選手たち(クリテリウム)



ゴール時の様子(クリテリウム)

10月19日 2014ジャパンカップサイクルロードレース（宇都宮市森林公園／国際レース）



森林公園スタート後の様子（ロードレース）



ゴール時の様子(ロードレース)

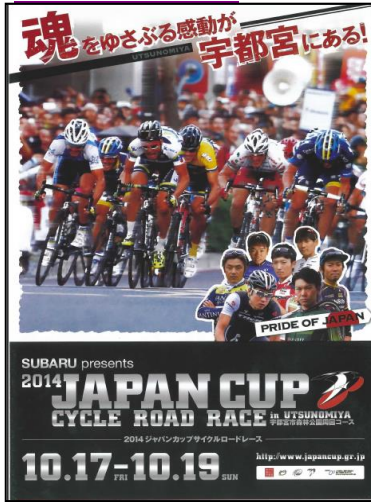
2 予想される事業実施効果

本事業を観戦した約12万1千人（ロードレース8万人、クリテリウム4万1千人）の観客がロードレースの魅力に触れたことにより、自転車競技の普及促進を図れたとともに、参加者の競技レベルの向上にも寄与している。

また、各種付帯イベント等は、エコや安全、健康づくりの意識啓発を行ったほか、参加型イベントの実施により、子どもや女性の参加機会を創出したことは、今後、新たな自転車ファン層の開拓に繋がるものとする。

3 本事業により作成した印刷物等

大会周知用チラシ 1800枚 大会周知用ポスター 3000枚



ポスター・チラシ表紙



UCIプロ出場チーム



スポンサー一覧



ジャパンカップウィーク



クリテリウム



ロードレース

※スケジュールや交通規制情報について記載

大会プログラム 4000部

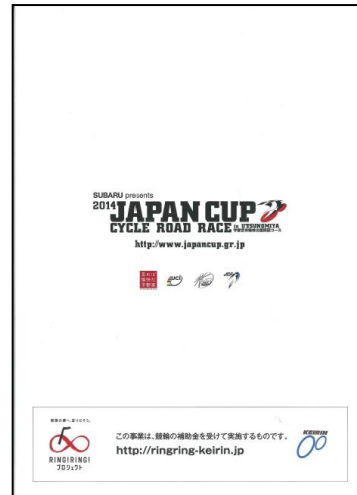


表紙

大会報告書 350部



表紙



裏表紙

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 特定非営利活動法人ジャパンカップサイクルロードレース協会
(ジャパンカップサイクルロードレースキョウカイ)

住 所 : 320-8540栃木県宇都宮市旭1丁目1番5号

代 表 者 : 理事長 矢古宇 克 (ヤコウ マサル)

担 当 部 署 : 事務局 (ジムキョク)

担 当 者 名 : 事務担当 杉山 裕紀 (スギヤマ ユウキ)

電 話 番 号 : 028-632-2736

F A X : 028-632-2740

E - m a i l : japan-cup@city.utsunomiya.tochigi.jp

U R L : <http://www.japancup.gr.jp>